

## 視点② 田端一恵

(滋賀県社会福祉事業団企画事業部 課長)



2009年滋賀県社会福祉事業団入職。企画事業部に所属し、アール・ブリュット・ジャポネ展の日本側の事務局や、ボードレス・アートミュージアムNO-MAの事業などを担当する。前職は岩手県内の知的障害者入所施設の生活支援員。知的障害のある彼、彼女らが生み出す作品に出会い、そのおもしろさに惹かれる。2004年、やさわの園で戸来貴規と「につき」に出会う。その後5年間、戸来とともに各種の取材や展覧会を体験。

日時：2011年9月3日(土) 10:30 - 12:00

会場：岩手県民会館第2展示室

岩手県盛岡市内丸13-1 TEL.019-624-1171

アクセス：[飛行機] いわて花巻空港から盛岡駅まで特急バスで50分  
[電車] JR盛岡駅下車 徒歩30分 / バス・タクシーで15分  
[バス] [県庁・市役所前]下車 徒歩2分  
[車] 東北自動車道 盛岡ICより20分 / 盛岡南インターチェンジより30分  
※県民会館 有料駐車場 43台(7:00~24:00 / 20分 100円)

協力：岩手県、「きららアート・スペシャルセレクション」実行委員会、いわて・きららアート協会

## 視点④ 細馬宏通

(動物行動学者 / 滋賀県立大学教授)



1960年西宮市生まれ。日常会話における身体の動きを研究している。また、絵はがきや塔、ステレオ写真、パノラマ館、アニメーションなど、視覚文化史に関する著書が多い。著書に「絵はがきの時代」「浅草十二階」(青土社)「絵はがきのなかの彦根」(サンライズ出版)など。NO-MA、滋賀県立近代美術館、大阪成蹊大学などでアール・ブリュットに関するトークショー、講演、ワークショップに出演している。

日時：2011年10月1日(土) 14:00 - 16:00

会場：滋賀県立大学サテライト・プラザ彦根

彦根市大東町2-28 アルプラザ彦根6F TEL.0749-26-0488

アクセス：JR彦根駅 西口から徒歩約2分

## アール・ブリュットが生まれる瞬間ー現場からー

施設現場で日々営まれる行為を、創作行為として再発見する。岩手県の施設で暮らす作家、戸来貴規さんの日常に寄り添ってきた当時の施設職員、田端一恵さんに、作家との交際の回路が誕生する瞬間について伺います。

## コミュニケーションの回路としてのアール・ブリュット

人の日常行為の痕跡が、他者を惹き付ける力を得る瞬間。アール・ブリュット作品には、行為と、作品のボーダーについて考えさせられる問いが常に含まれています。今回は動物行動学者の細馬宏通さんとともに、その問いを解き明かしてみませんか？

## 視点① 斎藤環

(精神科医)



医療法人爽風会佐々木病院診療部長。筑波大学医学研究科博士課程修了。思春期・青年期の精神病理学、病跡学、「ひきこもり」問題の治療・支援などを専門とする。そのほか、アニメ、マンガといったいわゆるサブカルチャーの批評も行うなど、精神科医という立場から、様々な文化論・社会論を展開している。

日時：2011年7月9日(土) 14:30 - 16:30

会場：ヴォーリズ平和礼拝堂(近江兄弟社学園 本館5F)

滋賀県近江八幡市市井町177 TEL.0748-32-3444

アクセス：JR近江八幡駅より近江バス「長命寺」または「国民休暇村」市内循環行き・学園前下車

協力：学校法人近江兄弟社学園

## 視点③ はたよしこ

(ボードレス・アートミュージアムNO-MA アートディレクター / 絵本作家)



1991年兵庫県西宮市の知的障害者通所授産施設(当時)すずかけ作業所に押し掛けボランティアとしてアートサポーターを始め、以来全国のアール・ブリュット作品を発掘し、紹介し続けている。ボードレス・アートミュージアムNO-MAの設立から今日まで深く関わり、多くの企画展を手がけてきた。アール・ブリュット作品公募展の審査や、講演、執筆活動など、その普及のために尽力を続けている。編著に「アウトサイダー・アートの世界」(紀伊国屋書店刊)など。

日時：2011年9月24日(土) 14:30 - 16:30

会場：ヴォーリズ平和礼拝堂(近江兄弟社学園 本館5F)

滋賀県近江八幡市市井町177 TEL.0748-32-3444

アクセス：JR近江八幡駅より近江バス「長命寺」または「国民休暇村」市内循環行き・学園前下車

協力：学校法人近江兄弟社学園

## アール・ブリュット作家の共通性と個性

精神科医という立場から、様々な文化論・社会論を縦横無尽に展開されてきた斎藤環さん。作品、作家、施設職員、施設環境。作品が生み出される総体的な土壌と関係する、アール・ブリュットの視点を紐解きます。

## アール・ブリュットを訪ね歩くボーダーを超える実践的取り組み

作業所での絵画教室の運営をはじめ、これまで全国の様々なアール・ブリュット作品の発掘に努めてきたはたよしこさん。ディレクターを務める「NO-MA」での企画展報告をはじめ、様々な実践的取り組みについて伺います。

# アール・ブリュットを巡るトークシリーズ

2011年 夏 - 2012年 春 | 参加費無料(予約制) | 滋賀県内 - 岩手県内 - 東京都内 各所

予約・申し込み：TEL / FAX 0748-36-5018 (NO-MA) ※定員になり次第締め切り

慶応義塾大学大学院修士課程修了(美学美術史学分野)。2000年より現職。企画した展覧会に「現代美術への視点6 ～エモーショナル・ドロ잉」(東京・京都国立近代美術館、2008年)、「この世界とのつながりかた」(ボードレス・アートミュージアムNO-MA、2009年)、「建築はどこにあるの? 7つのインスタレーション」展(東京国立近代美術館館、2010年)など。武蔵野美術大学非常勤講師も務める。

## 聞き手 保坂健二郎

(東京国立近代美術館 研究員)

## 視点⑥ 田口ランディ

(作家)



1959年、東京都生まれ。2000年、長編小説「コンセント」でデビュー。2001年『できればムカつかないで生きたい』で第1回婦人公論文芸賞を受賞。近年は、福祉や医療、原発、水俣問題をはじめとする現代社会が抱える問題や、宗教、精神、生、死などをテーマに、小説やノンフィクションを精力的に執筆。2011年、長編小説「マジナル」と同時に、ノンフィクション「アルカナシカ」を発表。

日時：2011年11月26日(土) 14:30 - 16:30

会場：ヴォーリズ平和礼拝堂(近江兄弟社学園 本館5F)

滋賀県近江八幡市市井町177 TEL.0748-32-3444

アクセス：JR近江八幡駅より近江バス「長命寺」または「国民休暇村」市内循環行き・学園前下車

協力：学校法人近江兄弟社学園

## アール・ブリュットとの出会いそしてその可能性について

宗教、福祉、医療、スピリチュアリティ、自然など様々なテーマを、小説、ノンフィクション問わず精力的に執筆された田口ランディさん。彼女がアール・ブリュットと出会うきっかけ、そのエピソードをきっかけに、現代社会におけるアール・ブリュットの持つ可能性を探ります。

## 芸術人類学からみたアール・ブリュットの現在

無意識の奥に潜んでいる、野生の感覚と思考を呼び覚まし、現実の社会に実践的に活用する「芸術人類学」を提唱されている中沢新一さん。その「野生への扉を開く鍵となるアール・ブリュットの魅力に迫りつつ、今日行き詰まりつつある現代社会を抜本的に捉え直す思考を学びます。

## 視点⑤ 中沢新一

(人類学者 / 明治大学野生の科学研究所 所長)



1950年 山梨県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。宗教から哲学まで、芸術から科学まで、あらゆる領域にまたがる思考を展開する思想家、人類学者。明治大学野生の科学研究所所長。著書に「チベットのモーツァルト」、「森のパロッド」、「哲学の東北」、「カイエ・ソバージュ」、「アースダイバー」、「芸術人類学」、「狩猟と編み籠 対称性人類学II」、「日本の大転換」など多数。

日時：2011年11月19日(土) 15:30 - 17:30

会場：明治大学 野生の科学研究所

東京都千代田区神田小川町3-26-8

明治大学 国際総合研究所内 TEL.03-5259-9001

共催：明治大学 野生の科学研究所

## 視点⑦ 高橋伸行

(アーティスト / やさしい美術プロジェクトディレクター / 名古屋造形大学准教授)



愛知県生まれ。2002 やさしい美術プロジェクト設立。大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ2006参加。文部科学省現代的教育ニース取組支援プログラムに選定。2009 大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ2009参加。2010 瀬戸内国際芸術祭2010参加。国立療養所大島青松園での取り組み「つながりの家」を展開。2011 東日本大震災支援「ひかりはがき」を展開。宮城県七ヶ浜町仮設住宅の表札づくりワークショップを担当。現在、愛知県厚生連足助病院、小牧市民病院、新潟県立十日町病院、発達センターちよだ、国立療養所大島青松園にて継続して活動を展開中。

日時：2012年1月28日(土) 14:30 - 16:30

会場：滋賀県立近江学園

滋賀県湖南市東寺4-1-1 TEL.0748-77-2811

アクセス：[車] 神高道路東ICより、国道一号線を鈴鹿方面へ約8km、石部口交差点を南進  
[電車] JR草津線石部駅下車、町営巡回バス「めぐるくん」乗車(約16分)、学園前バス停下車、徒歩5分または石部駅からタクシー利用(約10分)

協力：滋賀県立近江学園

## 医療・福祉を地域に開くアートプロジェクトとアール・ブリュット

やさしい美術プロジェクトとは、病院とアーティスト、デザイナーとの協働で「安らぎのある医療環境」地域に開かれた病院」を創出するアートプロジェクト。そのディレクターを務める高橋伸行さんとともに、地域社会とアール・ブリュットの関係性を探ります。

## 美術コレクターからみたアール・ブリュットの魅力

アール・ブリュットを含め、20年以上にわたって様々な現代美術作品をコレクションしてこられた田中恒子さん。作品を自分の家族の一員のように大切に扱って来たコレクターならではの視点で、アール・ブリュットの魅力について語ります。

## 視点⑧ 田中恒子

(美術コレクター / 大阪教育大学 名誉教授)



住居学の研究者、また、現代美術の愛好家・コレクターとして20年にわたり「アートと共に住まう・暮らす」を実践。関西を中心とするギャラリーや美術館を巡り歩き、若い作家たちの才能の輝きを見つけ、その飾らない人柄で多くの美術関係者から親しまれている。2009年にはほぼ全てのコレクションを和歌山県立近代美術館に寄贈。同館にて、展覧会「自宅から美術館へ：田中恒子コレクション展」も開催された。その折に出版された図録に作家達から寄せられたメッセージやコメントは、コレクターと作家の関係性を語る記録となっている。

日時：2012年2月18日(土) 14:30 - 16:30

会場：マルチメディアセンター 情報会議室

滋賀県近江八幡市出町645-4 TEL.0748-31-0800

アクセス：[車] 県道2号線(大津線登川長浜線-朝鮮人街道)の出町交差点を北(旧市街方面)に入り、約500m先の狭い十字路(「マルチメディアセンター」・「ZTV」の案内標識あり)を左折して100mほどのところ。駐車場はセンターの裏手(ZTVさんと共用)にあり。  
[電車] JR近江八幡駅より近江バス「長命寺」行き・八幡前下車、東へ徒歩1分。八幡商業高校正門向かいの建物。

協力：マルチメディアセンター